

★三億四千万円が灰★

三月に入ると日増に暖くなり、火鉢やこたつはもはや不要なものになつてくる下旬にはあちこちから桜の便りもあり、家族揃つて花見、ハイキングに出かける機会もつい多くなる。春はとかく人の心もゆるみ勝ちになるものである。「火事はその身の油断から」という言葉もあるように、一寸した油断から思わぬ不幸を招くものこのシーズンに多いようである。

＜春の火災予防＞



出火の原因は、火の不始末や器具の取扱ひ上の不注意による失火が九割以上になつてゐる。これを内訳してみると、たばこ、子供の火遊び、かまど、こんろの順になつてゐる。たばこの吸い殻やマッチの燃えさしを所構わず捨てたり、マッチを子供の手の届く処に置いたり、煙突が短か過ぎたり、破損してゐたり、ガソリン等の引火物が近くにゐるのに注意しなかつたり、その他電気器具のスキッチの切り忘れ、石油コンロを付けたまゝ、外出したり、ほんの一寸とした不注意から火災が起きている。

本県では昨年の出火件数四七七件、損害額は約三億四千万円を出している。ところで出火件数を春夏秋冬の四季に分けてみると、冬と春で年間の六割になつてゐるのが特徴。

火災を出さないためには家の構造や設備の改善が必要だが、普段の注意として消火器や防火砂、防火用水は是非備へ付けていたいただきたい。万一出火した場合は「早くみつけて早く消す」このことが被害を最少限度に止めるために最も大切なことである。

(消防課)



三月★県警だより

卒業期の子供

1、卒業期の子供
2、交通事故急増

三月から四月にかけては進級、入学、就職で、生徒も学校もあわただしく、またよろこびや悲しみが交錯するときである。進級の場合は比較的問題も少ないが、卒業となれば同時に就職や上級学校入校等新しい第一歩をふみ出すことにもなる。ここで特に注意しなければならないのは次の段階までに指導の切れ目ができることである。

この点について各家庭では次の点に注意したいもの。

- 1、卒業によつて今までの学校管理下を離れてしまい、新しい入学からはまだ自校の生徒としての指導がなされていらないという状態、しかも進学に不合格の場合や就職のメドがついていないものは、この時期には、精神的にも極めて動揺している。家庭の温い見守りがとりわけ必要である。失意のものに対しては広い高い立場から再起への励ましをおくり、また新しい転換への示唆を与えるという配慮が最も必要である。一方成功しているときでもまた人生経験の浅い青少年が小成に安

んじないよう適切な助言や指導を与えることが大切だ。

- 2、この時期の家庭の一般的な配慮としては、子供が本心に心をうちあけられるような親であり、子供の言葉によく耳をかたむけて相談にのるような態度やふんいきが望ましく、子供の行動に無関心やなげやりなことがあつてはならない。さらに親が表現できなかつた願いを子供にかけ余り過大な期待をかけ、無理をさせていることがないかどうか、配慮が過剰になつて伸びようとする子の自主性をそねたり、反感や反抗心をつのらせることはないかという点にも注意すべきだろう。
- 3、三月は子供の精神的動揺期で、例年少年の犯罪や不良行為が急激にふえ、また自殺を企てるなど思いあまつた行動に走る少年も多くなる。家出人は三月から五月にかけての春先が最も多いが、捜査願の出される者三人に一人強は少年であるし、自殺もこの時期に多く、一昨年熊本県での五一三人(未遂も含む)のうち一五%に当る五四人は少年であつた。しかも原因の大部分は勉強による神経衰弱や進学試験の失敗

お知らせ

自動車航送船の運航時刻が変りました

★長洲港と長崎県の多比良港を結ぶ、有明海自動車航送船の運航時刻が次のように変りました。

★夏期時刻表(三月一日から十一月三十日まで)

便	両港同時発
1	7.00
2	8.00
3	9.00
4	11.00
5	13.00
6	15.00
7	16.00
8	17.00
9	18.00
臨時	4・5月の土・日・祭日のみ19.00
10	20.00

(有明海自動車航送船組合)

たのしい夜のひととき

海外移住の夕へお集り下さい

(移民課)

熊本県は全国的に中南米移住の活潑な県として注目されていますが、こんどさらに海外移住について認識を高めて頂くため下記のとおり、海外移住の夕を開くことになりました。催しの内容は、現地事情の紹介、他、映画、アトラクション(のど自慢)などでゆつくり楽しんで頂くというもので入場は無料。

3月15日	水村小学校
〃 24日	阿蘇郡阿蘇町黒川小学校
〃 25日	上益城郡甲佐町甲佐小学校
〃 28日	八代郡鏡町鏡小学校
〃 29日	芦北郡芦北町佐敷小学校
〃 30日	球磨郡免田町免田小学校
4月4日	天草郡河浦町一町田小学校
〃 5日	天草郡茶臼山小学校
〃 6日	本渡市本渡小学校

(備考)

開会 午後7時
映画 希望の国
ラジ 天然色40分
★アトラクション
市町村知名士
のど自慢など

とみられている。こうした統計はこの時期の少年たちの精神的な動揺を裏書するものであるとみるので、卒業期を控えた少年をもたれる家庭では特に次のことに心がけて頂きたいもの。

- イ 少年が進んで親に相談するような家庭のふんいきをつくり、話し合いの機会を多くして子供の悩みや不満を内攻させないようにする。
- ロ 少年の人格を認め、その成長に従つて適応した指導を行う。
- ハ 進入学、就職の試験の失敗しても叱つたり、ぐちをこぼしたりしないで、必ず力づけて希望をもたせる。
- ニ 勉強や労働に無理のいかないよう精神的にも肉体的にも健康を見守つてやること。
- 四、また折角中学を卒業、社会に巣立ちしながらすぐ職場を離れるものが多い職場の悪い影響や失職のために不良化したり、罪をおかして補導される少年も少なくない。そこで警察では少年を迎える職場に対し、少年の職場に対する不安を早くなくし、職場に親しみをもちたせること、軽べつや荒々しい言動をつつしむこと、少年の苦情をよく聞いてやり、納得のいく説明をしてやること、少年に期待と関心を示し、就労意欲を起させるとともに、小さなことでも十分指導を行いたい。

交通事故急増……

春になると交通事故も目立つて増えてくる。ほかほか暖い日は一般的に外出者が多くなるし、子供も戸外で遊ぶようになるので事故にかからぬ用心をす促すべき時期である。統計によると昨年中県下の交通事故は二、三〇九件、死者一二六人で、この状況でいくと今年の事故は二、五〇〇件に達するのではないかと思われる。

事故は大体自動車によるものが圧倒的(七七%)で次に原動機付自転車によるもの(二〇%)があり、自動車の増加にともない事故もこれに比例して増加しつつある。

- 1、昨年の一般的傾向としてスピード関係の違反による事故が四五%を占めていることを指摘しなければならない。そして小型乗用車、原動機付自転車(オートバイ等)の事故の激増が特に目立ち、昨年の事故統計によつても小型乗用車が一一、五%、原動機付自転車が四〇、五%も増加している。
- 2、交通事故による死傷率の最も高いのはトラックで、自動車事故による死傷者のうち四五、七%を占め、この中には小型三輪車によるものが最も高率である。これは荷の積み過ぎ、勤務時間の長いための疲労による場合が多く、全自動車事故の四五、二%までトラックであることは、運転者もさることながら経営者にも責任のあることを示している。

(県警本部)